



洗心

村山市立袖崎小学校
学校だより
No.6

令和7年6月25日発行

「わくわく」と「きく」で授業をつくる



私たちは、今年度のテーマ「挑戦し、やり抜く」を実現するために、土台となるのは「物理的・心理的な安全」と「おもしろいをつくる」と捉えています。洗心わくわくプロジェクトは、その一環です。

そして、一番「わくわく」が必要なのは日々の授業です。ですから、今年度は特に「わくわく」と「き

く」を柱として授業づくりを進めています。具体的には、①児童が「わくわく」するために、魅力的な学習のゴールを示し、体験的な活動を仕組むこと、子どもたちが選択したり自己決定したりする場を作ること。②互いに「きく」力をつけ協働的に学ぶことで、安心して学べる環境を整えること。そしてそれを日常化することが大切だと考えています。



6月17日(火)には、授業研究会が行われ、2年生と3,4年生が授業を公開しました。2年生は、楽しいクイズやゲームをしながら、知らず知らずのうちに図形の定義を繰り返し参照し、図形を



弁別したり、描いたりすることができました。3年生は、友達の発表を聴いて、その中心をとらえて質問する、という難しい学習でした。しかしながら、質問のヒントとなるカードを使ってたくさんの質問をし、中には一問一答ではないやりとりを続けることができた児童もいました。4年生は、「みんなが読みたい、とっておきの新聞をつ

くろう」というゴールに向かって、ウェビングマップで考えを広げたり、書籍やネットで調べたりしながら記事を書きました。見出しの候補をいくつか考え友達から意見をもらったり、初めは困っていたけれど友達に訊きながら記事を完成させることができたり、支え合って最後まで学び続ける姿を随所に見ることができました。もちろん課題もありますが、「わくわく」と「きく」を大切に、今後も授業をつくっていきたいと考えています。



運動会 応援団幹部の振り返り

運動会のように、意見の違う人が集まって大きな行事を計画・実施するには、どうしても「折り合いをつける力」が必要とされます。きっと壁にぶつかることや不愉快なこともあったでしょう。しかし、仲間ととことん話し合い、励まし合って活動を続ける中で、まとまりと絆が生まれていきました。中心となって頑張った児童の振り返りを紹介します。(裏面へ)

「できるかなあ。」と不安だったが、本番はグラウンド中に声を響かせることができた。チームみんなで協力しながら全力でやり抜くことができた。仲間の大切さにまた気づいた。これからも、仲間とともに進んでいきたい。【6年 玉羽 鎧翔さん】

下の学年を動かすために、大きな声でよびかけることができた。最後の運動会で負けてしまって悔しいけれど、全力を出すことができたので良かった。みんなで協力したり挑戦したりする力が自分についてしまった。【6年 平山 紫月さん】

心がけていた白組応援歌を大きな声でかまないで言うことができた。エールの言葉も忘れないで言えた。100m走の時は、前だけ見て走ることを気をつけた。競技や応援の練習で、白組みんなを引っ張ることができた。【6年 森 翔馬さん】

声を大きくして言うことができた。練習で意識した隊形の順番を覚えてできた。自分の本気を出せし、応援練習で、人のいいところに気づくことができた。これからは生かしたい。【5年 能登 弘丞さん】

練習で本番のように本気で全力で取り組んだから、本番でも勝ったと思う。下学年をまとめる力、みんなでやる力がついたと思う。運動会でついたこの力を生活に生かしていきたい。【5年 八鍬 丞高さん】

たいこで、みんなの行動を見ながらたたいた。初めはリズムが難しかったけど、練習を続けたらリズムが上手になってうれしかった。放送アナウンスを大きな声ではきはきできた。【5年 矢作 惺那さん】

大きなはきはきした声を出し、素早く行動できた。みんなをまとめる力がついた。練習を本気でやったから本番にもつながったと思った。悔いの残らない楽しい運動会にできた。挑戦しやり抜く力、なんでも全力でやる力が付いた。【6年 森 星夏さん】

副応援団長として、赤組に負けないように大きな声を出した。競技では気を抜かないで本気で走った。全力を出したら速くなった。本番で、1、2年生が応援も競技も上手になったと思った。【6年 松田 幸也さん】

「赤かったコール」の時に全力で大きな声で言うのをがんばった。自分たちについて力は協力だと思ふ。これからの生活も、運動会のように協力していきたい。【5年 石山 幸助さん】

初めは、1、2年生に振り付けや踊りなどを教えるのが難しかったが、本番では、1、2年生がてきぱき動いていたので良かった。自分に、あきらめない力がついた。【5年 能登 陽太さん】

練習では1回も成功しなかった台風の目で、本番の時は回り方を間違えずにできてよかった。大きな声を出せるようになったので、あいさつなど声を出すときに生かしたい。【5年 森 汐里さん】

みんな全力で声を出して響いていたし、振り付けにも集中していた。熱い心でがんばっていて、いいなと思った。自分には、協力する力とみんなを引っ張る力がついた。【5年 米山 咲花さん】

全力で、最後まであきらめずに走った。練習では、あまり大きな声が出なかったけど、本番で大きな声を出すことができた。挨拶の声を大きくすることに生かしていきたい。【5年 玉羽 葵織さん】



【学校給食における物価高騰分の助成について 市からのお知らせ】

昨今の物価高騰等の影響により、学校給食の食材費について、値上がりが続いております。

村山市では、保護者の負担を増やすことなく、学校給食の質や量を確保するため、食材費における相当額を令和7年度も補助することとしました。補助金は各学校の「学校給食会計」に補てんする予定としております。なお、補助の額は、小学校が一人当たり約11,210円、中学校が約13,230円になる見込みです。このことをぜひご承知おきください。